

2015年7月1日  
凸版印刷株式会社

主婦の約3人に2人が社会貢献に興味あり。最も支援したいカテゴリーは「出産・育児・子育て」  
その背景に出産・育児・子育てをやる中で、誰かの助けを借りたいと思った子持ち主婦は88.6%  
一方、社会貢献活動経験がないと回答した主婦の約9割が「参加の仕方が分からない」

電子チラシで主婦のお買い物を応援してきた「Shufoo!」が、ソーシャルグッドプラットフォーム「gooddo」と連携し、

## 「出産・育児・子育て支援」Projectを開始！

～「シュフーポイント」の活用やアプリのダウンロードで日本の主婦をもっと応援！！～

凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:金子眞吾)が運営する国内最大級の電子チラシサービス「Shufoo!(シュフー)」(※1)は、日本の主婦を応援する「出産・育児・子育て支援」Projectを、2015年7月1日(水)より開始します。



日本経済の成長に向けて、「女性の活躍推進」が掲げられ、2015年4月には「子ども・子育て支援新制度」が本格施行し、子育て支援を中心に女性を応援する機運が高まりつつあります。

そこで、2001年8月のサービス開始以来、日本の主婦を応援してきた「Shufoo!」では、20歳～59歳の既婚女性800人に主婦の支援活動に関する調査を実施。その結果、主婦の約3人に2人が他の人を支援する活動に興味を持っている一方、これまで社会貢献活動への経験がない主婦の約9割が「参加の仕方が分からない」と回答していることが判明しました。また、自身が出産・育児・子育てをやる中で、誰かの助けを借りたいと思った子持ち主婦は約9割いることがわかりました。その上で、主婦が社会貢献で最も支援したいカテゴリーは「出産・育児・子育て」との回答が得られました。

この結果を受けて、電子チラシでお買い物を応援してきた「Shufoo!」では、もっと主婦を応援するための取り組みの第1弾として、ソーシャルグッドプラットフォーム「gooddo(グッドゥー)」(※2)と連携し、「出産・育児・子育て支援」Projectを開始。出産・育児・子育てで誰かの助けを借りたい主婦と、社会貢献活動として出産・育児・子育ての支援をしたい主婦を応援。「Shufoo!」は、「Shufoo!」ユーザーが「Shufoo!」でお買い物情報を閲覧して貯まる「シュフーポイント」50ポイントを出産・育児・子育てに関わる団体への支援金50円として活用できる機会を提供します。なお、「gooddo」のサイト内では「シュフーチラシアプリ」のダウンロードで「gooddo」内の出産・育児・子育てに関わる約100団体へ支援を行える機会も提供します。


凸版印刷は、社員が仕事と子育てを両立できる働きやすい環境づくりに取り組んでいます。「Shufoo!」は、今後も主婦を応援する様々な取り組みを行っていくことにより、更に主婦の皆様に役立つサービスへ進化してまいります。


## ■Shufoo! 「出産・育児・子育て支援」Project 第1弾について

実施内容：「シュフーポイントで応援」

無料の電子チラシサービス「Shufoo!」の利用で貯めることができる「シュフーポイント」50ポイント＝団体支援金 50円として活用できます。

●対象団体 応募期間：7月1日(水)～7月29日(水)

	<b>団体名</b> フローレンス
「子育てと仕事、そして自己実現のすべてに、誰もが挑戦できるしなやかに躍動的な社会」を目指し、病児保育、小規模保育、障害児保育等の事業を通じて、親子の笑顔をさまたげる社会問題を解決します。	

	<b>団体名</b> ばばとままになるまえに
「妊娠したときに、“ちゃん”よるこべる社会をつくる。」ために、結婚や妊娠前の若者を対象にしたイベントや講座、Webサイトの運営等を行っています。	



シュフーポイント

50ポイントからの 身近なコトからはじめよう!

# 出産♥育児 子育て支援

応募期間 >>> 7月29日(水)まで

シュフーポイントを使って、応募者全員、何回でも出産・育児・子育てを支援する団体を応援できます。  
1口50ポイント、50円分のメールです。

**応募方法**

- 1 シュフーポイント会員に登録
- 2 シュフーを利用してポイントを貯める
- 3 マイページからプレゼント賞品一覧を表示
- 4 支援したい団体を選択して応募  1口50ポイント

**支援対象団体**

- 団体について  
「子育てと仕事、そして自己実現のすべてに、誰もが挑戦できるしなやかに躍動的な社会」を目指し、病児保育、小規模保育、障害児保育等の事業を通じて、親子の笑顔をさまたげる社会問題を解決します。
- 支援内容  
本事業では病児・生活期の病児保育事業を支援する。事業期間内で1歳未満の病児保育料を減額し、少額保育料を減額して支援します。また、産後のケアに悩むという障害児保育センター(2015年4月からは新たに障害児保育センター)の事業を支援しています。
- 申し込み  
http://www.florence.jp/

- 団体について  
「お母さんになるまえに、お父さんになるまえに、お友達や家族と一緒にいると、おもしろいことばかり、一緒に暮らす楽しさを感じるのね。」をテーマとしたNPO法人です。
- 支援内容  
NPO法人ばばとままになるまえには、妊娠したときに、「ちゃん」よるこべる社会をつくる。結婚や妊娠前の若者を対象にしたイベントや講座、Webサイトの運営等を行っています。
- 申し込み  
http://babomama.cc/

●次回以降の対象団体(予定) 「マドレボニータ」ほか

サイト URL: <http://www.shufoo.net/pntweb/shufooPointPR.php>

\*「gooddo」のサイト内での「シュフーチラシアプリ」アプリダウンロードでも「gooddo」に参加する出産・育児・子育てに関わる約100団体への活動支援が可能です。

### ※1「Shufoo!」について

凸版印刷が2001年8月より運営を開始し、20・40代の女性を中心に利用されている国内最大級の電子チラシサービス。大手流通各社、地域主力スーパーなど約3,000法人、約104,000店舗が参加。PV数は月間2億1,130万、ユニークユーザー数は月間690万(2015年5月31日現在)となっています。チラシの閲覧回数や閲覧部分のデータを収集・分析するマーケティング機能も備えています。また、生活者は、PCに加え、携帯電話やデジタルテレビ、拡大するスマートフォンやタブレット端末など様々なデバイスから日本全国の電子チラシを閲覧することができます。

- PC <http://www.shufoo.net>
- 携帯 <http://mobile.shufoo.net>
- iPhone <http://itunes.apple.com/jp/app/id373909230?mt=8>
- iPad <http://itunes.apple.com/jp/app/id373911706?mt=8>
- Android <https://play.google.com/store/apps/details?id=com.toppan.shufoo.android>

### ※2「gooddo」について

gooddo株式会社が運営する、ソーシャルグッドプラットフォーム。現在500以上の団体が参画し、支援総額は5,000万円を超えました。「gooddo」に訪れるユーザーのアクションに応じて、スポンサー企業よりNPO団体等に活動支援金が提供されることで、ユーザーと企業が社会貢献に参加することができる仕組みとなっているため、ユーザーは、自分の応援したい社会貢献団体を、誰でも、今すぐ、簡単に、無料で応援することができます。

URL: <http://gooddo.jp/>

\* 本ニュースリリースに記載された会社名および商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

\* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以上

## <「Shufoo!」・「出産・育児・子育て支援」Project 参考資料:調査結果概要>

### ■意識調査結果要旨

今回の調査結果概要は下記となります。

#### 【主な調査結果トピックス】

- ▼ **社会貢献活動に興味対して興味を持つ主婦は全体の63.5%**  
一方、これまで社会貢献活動への経験がない主婦の約9割が「参加の仕方が分からない」
  - ・一月に30分～2時間未満程度の時間を支援活動に使用したい主婦が約半数
- ▼ **主婦が社会貢献で最も興味があるカテゴリーは「出産・育児・子育て」**
  - ・社会背景としての「子育て支援」への注目、20代主婦では75.0%
  - ・出産・育児・子育てをする中で誰かの助けを借りたいと思った子持ち主婦は88.6%
  - ・助けを借りたいと思った場面は、体力的な問題以外に子育てに孤独を感じた等

全国の既婚女性 800 人を対象に社会貢献活動に対する興味について聞いたところ、興味があると回答した主婦は 63.5%でした。一方でこれまでに社会貢献活動への参加経験があると回答した主婦は、26.5%と実際の活動経験がある主婦は約 4 人に 1 人であることが分かりました。

社会貢献活動を行ったことがないと答えた人に参加方法について聞いたところ、約 9 割にも及ぶ 89.8%が「参加の仕方が分からない」と回答していることが分かりました。そこで、社会貢献活動に参加するなら、1 ヶ月にどれくらいの時間を支援に使用したいか聞いたところ、30 分～2 時間未満の時間であれば支援したいと回答する主婦が多く、無理をせずに気軽な参加の仕方であれば、社会貢献活動に参加したい、「ソーシャル主婦」の存在が見受けられました。

また、社会貢献に参加するとしたら、どのようなカテゴリーで支援したいかを伺ったところ、最も回答数が多かったのは、「出産・育児・子育て」であることが分かりました。さらに、子どもを持つ主婦に出産・育児・子育てをする中で誰かの助けを借りたいと思ったことがあるかについて聞いたところ、全ての年代で約 8 割の主婦が「借りたいと思った」とことがあると回答しており、特に、「子ども・子育て支援新制度」など社会背景として子育て支援に注目が集まっているが、支援してみたいかとの問いでは、20 代の主婦で 75.0%の関心があることが分かりました。この結果より、女性にとって自信が苦労したこと、これから直面するであろう身近な問題に支援したい意向が強いことが伺えました。

#### 【調査概要】

調査エリア:全国

調査対象者:20～59 歳の既婚女性

サンプル数:800

調査期間:2015 年 6 月 11 日～6 月 12 日

調査方法:インターネットリサーチ

\*本資料に含まれる調査結果をご掲載頂く際は、必ず『Shufoo!調べ』と明記下さい。

## ■社会貢献活動に対して興味を持つ主婦は全体の63.5%

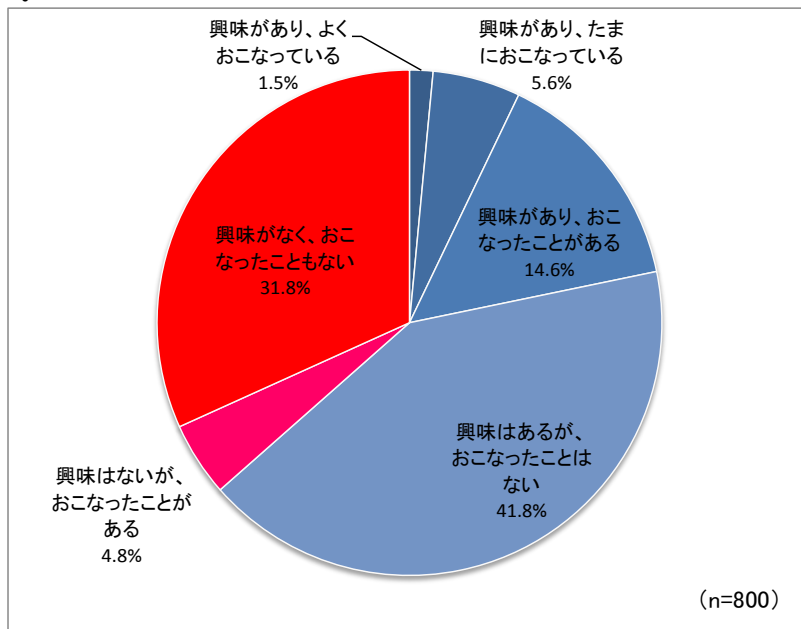
- 一方、これまで社会貢献活動への経験がない主婦の約9割が「参加の仕方が分からない」
- ・一月に30分～2時間未満程度の時間を支援活動に使用したい主婦が約半数

まず始めに、社会貢献活動に対する興味や経験について聞いたところ、全体の約2/3である63.5%が興味あると回答しました。一方、これまでに社会貢献活動に参加したことがあると回答した主婦は、26.5%と主婦の約4人に1人がこれまでに社会貢献活動へ参加した経験があることが分かりました。

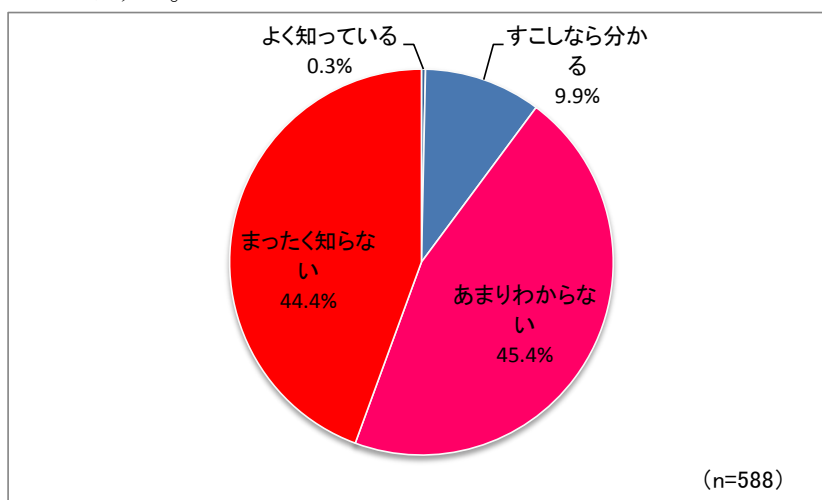
さらに、社会貢献活動への参加経験がない主婦に参加の仕方について聞いたところ、約9割にも及ぶ89.8%が「参加の仕方が分からない」と回答していることが分かりました。

そこで、社会貢献活動に参加するとしたら1ヵ月にどれくらいの時間であれば支援に回りたいかと聞いたところ、30分～1時間未満と1時間～2時間未満と回答する主婦が併せて約半数いることが分かり、無理をせずに気軽な参加の仕方であれば、社会貢献活動に参加したい、“ソーシャル主婦”の存在が見受けられました。

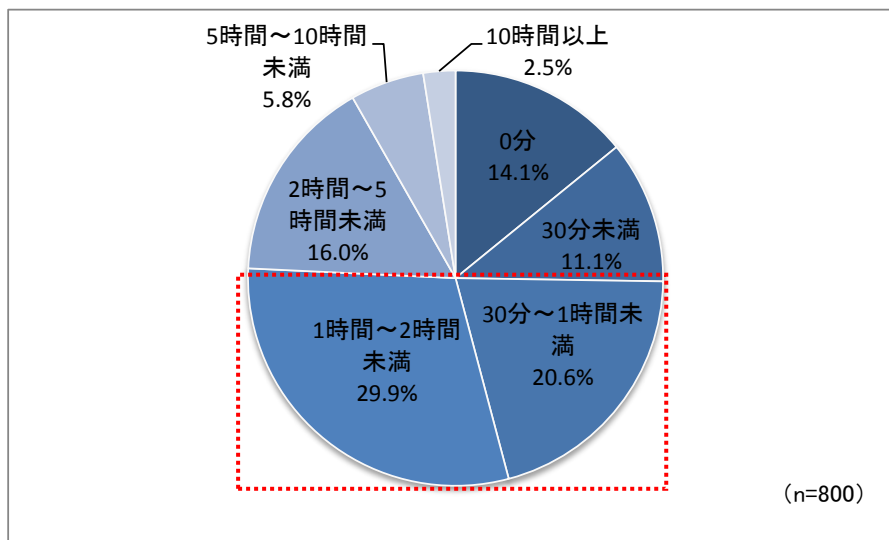
Q: 社会貢献活動に対してのあなたの興味・経験を教えてください。



Q: 「社会貢献活動をおこなったことがない」とお答えの方に、社会貢献への具体的な参加の仕方を知っていますか。



Q: 社会貢献活動に参加するとしたら1ヵ月にどれくらいの時間を支援に回したいと思いますか。



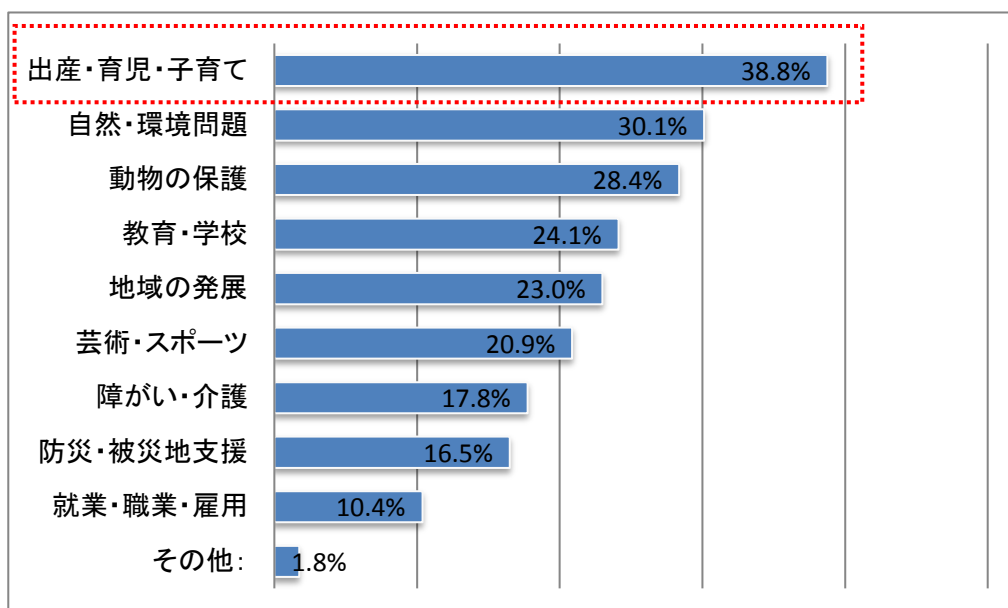
■主婦が社会貢献で最も興味があるカテゴリーは「出産・育児・子育て」

- ・社会背景としての「子育て支援」への注目、20代主婦では75.0%
- ・出産・育児・子育てをやる中で誰かの助けを借りたいと思った子持ち主婦は88.6%
- ・助けを借りたいと思った場面は、体力的な問題以外に子育てに孤独を感じた等

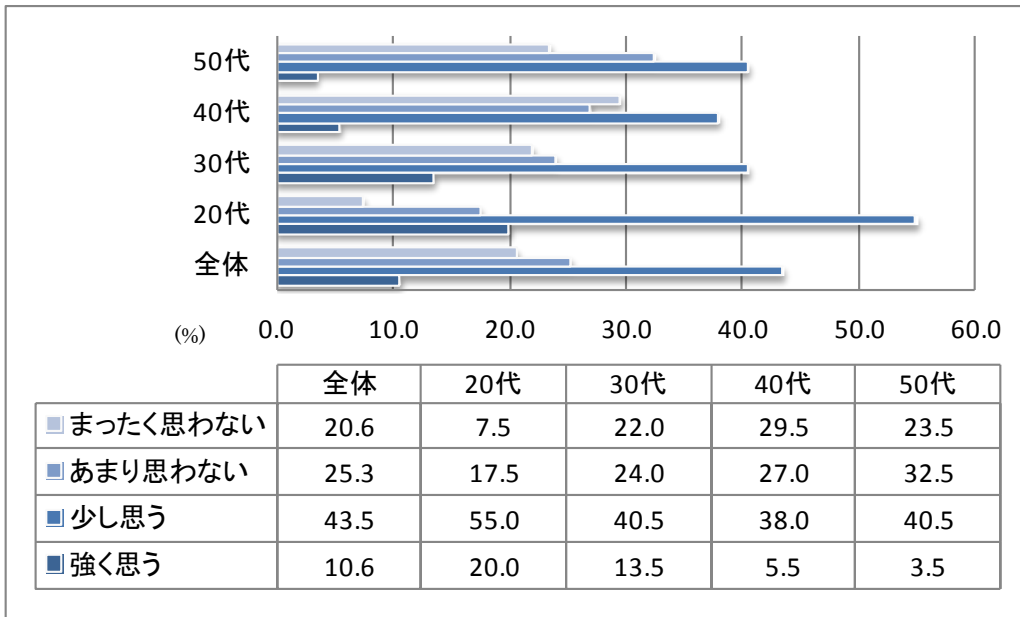
次に、社会貢献に参加するとしたら主にどのようなカテゴリーで支援したいかを伺ったところ、「出産・育児・子育て」が最も多く、次いで自然・環境問題、動物の保護との回答結果となりました。特に20代、30代の主婦では「出産・育児・子育て」への興味が強く、2015年4月に施工された「子ども・子育て支援新制度」など社会背景として子育て支援に注目が集まっていますが、支援してみたいと思うかとの問いでは、20代の主婦では75.0%の関心があることが分かりました。

さらに、子どもを持つ主婦に出産・育児・子育てをやる中で誰かの助けを借りたいと思ったことがあるかを聞いたところ、全ての年代で約8割の主婦が「借りたいと思った」とことがあるとの回答結果が得られました。助けを借りたい場面では、「産後すぐに家事をする体力や精神力も低いため、手助けが欲しかった」や「今ほど「子育ての孤独」に注目されていなかった」ので、ささいな場面でも助言が欲しかった」等、自信が過去に直面した体験や今後起こりうる問題に支援したい意向が強いことが伺えました。

Q: 社会貢献に参加するとしたら主にどのようなカテゴリーで支援したいですか。

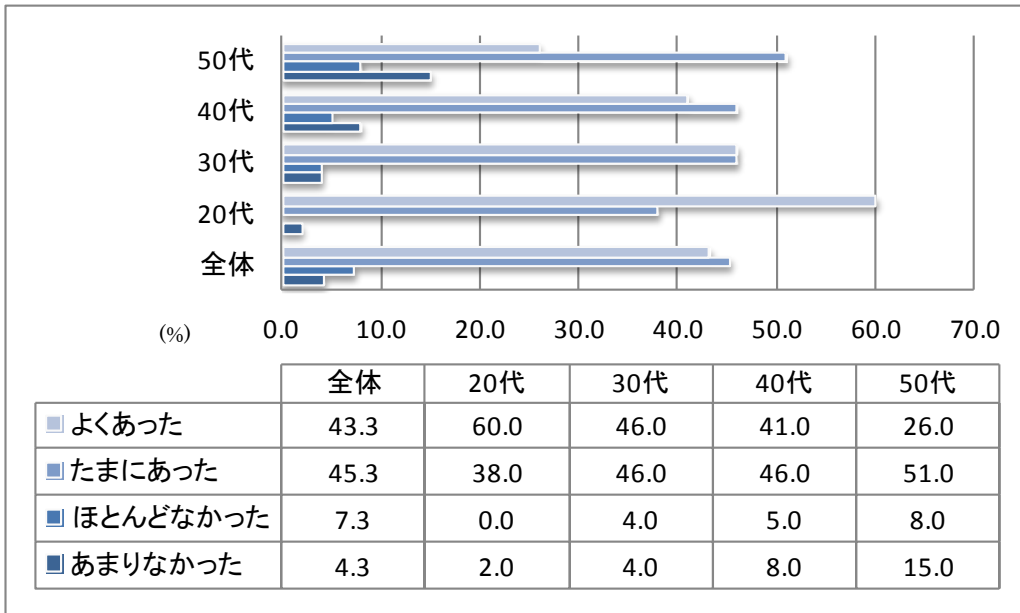


Q: 社会背景として制度の施行など「子育て支援」に注目が集まっていますが、日常の中であなた自身も支援してみたいと思いますか。



(n=800)

Q: 出産・育児・子育てをする中で誰かの助けを借りたいと思ったことはありますか。



(n=400)